



# 7月のほけんだより

令和3年7月発行  
はごろも保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。夏は、暑さのために食欲がなくなったり、体力を消耗したり、体の調子を崩しやすい時期です。元気そうに見えても、体は意外と疲れています。先月、本園では、溶連菌感染症に罹ったお子さんがいました。十分な休息をとりながら、元気に夏を過ごしましょう。

## 溶連菌感染症とは

溶連菌感染症とは、溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の2割程度がこの菌が原因と言われています。発熱で気付かれることが多く、咳やくしゃみなどでうつります。

### <症状>

- ・突然高熱が出て、喉が腫れて痛みが出る。
- ・発熱から2～3日経つと、首や胸、手足、足首に粟粒状の発疹が現れて強いかゆみを伴い、やがて全身に広がる。
- ・舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツが出る。
- ・嘔吐、頭痛が起こる。

### 注意！

症状が落ち着いたからと薬をやめると、急性腎炎やリウマチ熱に罹ることがあります。  
症状が消えても、医師の指示があるまでは、薬の服用をやめないようにしましょう。

### 登園のめやす

抗菌薬服用開始後24～48時間は登園停止です。  
医師の判断に従って下さい。  
登園の際は、園に備えてあります「登園許可証明書」に保護者が記入、捺印し提出して下さい。

## 気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な病気と主な症状を挙げてみました。気になる症状がみられましたらすぐに病院へ行きましょう。

### \* ヘルパンギーナ

**原因：**コクサッキーウイルスA群などに飛沫感染することで発症。

**症状：**高熱と喉の痛みが特徴。特に喉は、水泡や潰瘍ができるため、かなり痛みます。食事や水分がとりにくく、乳児はミルクが飲めないほどです。

**対応：**喉の痛みは、熱が下がってからも続くことがあります。熱や喉の痛みがあるうちは、安静に過ごしましょう。のどごしと消化のよい食事にし、こまめに水分補給をして脱水に注意しましょう。



### \* プール熱（咽頭結膜熱）

**原因：**アデノウイルスによる飛沫感染。目やにや便からうつることもあります。プールの水を介して感染することがあるので、「プール熱」と呼ばれています。

**症状：**39℃以上の発熱と喉の痛みがあり、目のかゆみ、痛み、充血、涙など、結膜炎のような症状が出るのが特徴です。頭痛、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。

**対応：**感染したら、症状がなくなってから2日経過するまでは登園停止になります。

自宅で安静に過ごしましょう。のどごしがよい食事にし、水分補給をして脱水予防をしましょう。

